

フェスタサマーミュージザ KAWASAKI 2022

ミュージザ川崎シンフォニーホール

NHK 交響楽団

NHK Symphony Orchestra, Tokyo

エキサイティング! 渋谷から熱風が襲来!

7/30[±]

■ プレコンサート

15:00~15:30

※本公演と同じお席でお楽しみください。

■ 開演

16:00

■ 終演予定

18:00

本公演はライブ配信を実施しております。客席内と舞台上に映像カメラが入りますので、予めご了承ください。

出演

指揮: **下野竜也** Tatsuya Shimono, *Conductor*

ヴァイオリン: **三浦文彰*** Fumiaki Miura, *Violin*

コンサートマスター: **篠崎史紀** Fuminori Maro Shinozaki, *Concertmaster*

曲目

J.S. バッハ(レーガー編):
「おお人よ、汝の大いなる罪を嘆け」BWV622 (5分)

J. S. Bach (arr. Reger):
O Mensch, bewein dein Sünde gross, BWV 622

ブルッフ: ヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調 作品26*
(23分)

Bruch: Violin Concerto No. 1 in g minor, Op. 26

第1楽章 前奏曲: アレグロ・モデラート
第2楽章 アダージョ
第3楽章 フィナーレ: アレグロ・エネルジコ

— 休憩 [20分] —

ベートーヴェン: 交響曲第7番 イ長調 作品92 (35分)

Beethoven: Symphony No. 7 in A major, Op. 92

第1楽章 ボーコ・ソステヌート・ヴィヴァーチェ
第2楽章 アレグレット
第3楽章 プレスト
第4楽章 アレグロ・コン・プリオ

■ プレコンサート

●木管三重奏

オーボエ: 池田昭子

クラリネット: 松本健司

ファゴット: 菅原恵子

<曲目>

J.S. バッハ: 3声のシンフォニアより

第1番 BWV787

第2番 BWV788

第8番 BWV794

ミヨー: コレットによる組曲 作品161bより

1. 入場とロンド

2. タンブーラン

3. ミュゼット

4. セレナード

5. ファンファーレ

●弦楽四重奏

第1ヴァイオリン: 高井敏弘

第2ヴァイオリン: 後藤 康

ヴィオラ: 中村洋乃理

チェロ: 市 寛也

<曲目>

ラヴェル: 弦楽四重奏曲 へ長調から

第1楽章、第2楽章

※演奏時間は目安です。

※出演者・公演内容につきましては変更が生じる場合がございます。

■ 出演者プロフィール



©Naoya Yamaguchi

指揮: **下野竜也** Tatsuya Shimono, *Conductor*

広島交響楽団音楽総監督(2017年4月~)。広島ウインド・オーケストラ音楽監督(2011年1月~)。鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール<指揮>優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、ローマ・サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、チェコ・フィルハーモニー、シュトゥットガルト放送響、シリコンバレー響、バルセロナ響、シンフォニア・ヴァルソヴィアなど国際舞台でも活躍している。これまでに読売日本交響楽団初代正指揮者、同首席客演指揮者、京都市交響楽団常任客演指揮者、同常任首席客演指揮者を歴任。京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授、東京音楽大学吹奏楽アカデミー特任教授、東京藝術大学音楽学部指揮科非常勤講師として後進の指導にもあたる。齋藤秀雄メモリアル基金賞、芸術選奨文部科学大臣賞、東燃ゼネラル音楽奨励賞、有馬賞など受賞多数。太鼓芸能集団「鼓童」ミュージックアドバイザー。鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。NHKFM「吹奏楽のひびき」パーソナリティ。

公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>



©Yuji Hori

ヴァイオリン: **三浦文彰** Fumiaki Miura, *Violin*

2009年世界最難関とも言われるハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝。これまでロサンゼルス・フィル、ロイヤル・フィル、マリンスキー劇場管、チャイコフスキーシンフォニーオーケストラ、ベルリン・ドイツ響、NDRエルプ・フィル、フランクフルト放送響、シュトゥットガルト放送響、ケルン放送響、エーテポリ響などと共演。共演した指揮者にドゥグメル、ゲルギエフ、フェドセーエフ、ズーカマン、ロウヴァリ、ティチャーティ、オロスコ=エストラダなどが挙げられる。NHK大河ドラマ「真田丸」テーマ音楽を演奏したことや、TBS「情熱大陸」への出演も大きな話題となった。18年からスタートしたサントリーホールARKクラシックスではアーティストック・リーダーに就任。21/22シーズンには、バルセロナ響、ウィーン室内管と共演。ピリスとのデュオリサイタルも行う。ロンドンの名門ロイヤル・フィルのアーティスト・イン・レジデンスに就任。CDはエイベックス・クラシックスよりリリース。09年度第20回出光音楽賞受賞。使用ヴァイオリンは、宗次コレクションより貸与されたストラディヴァリウス 1704年製作 "Viotti"。

■ オーケストラ・プロフィール

NHK 交響楽団 NHK Symphony Orchestra, Tokyo

【創設】	1926年に新交響楽団として発足。日本交響楽団の名称を経て、戦後の1951年に日本放送協会の支援を受けることとなり、NHK 交響楽団となる。
【指揮者】	パーヴォ・ヤルヴィ(首席指揮者)、シャルル・デュトワ(名誉音楽監督)、ヘルベルト・ブロムシュテット(桂冠名誉指揮者)、ウラディーミル・アシュケナージ(桂冠指揮者)、外山雄三、尾高忠明(以上、正指揮者)
【楽団員数】	114名
【ホーム・コンサート・ホール】	NHK ホール、サントリーホール
【楽団ウェブサイト】	https://www.nhkso.or.jp/



<p>●感動をもう一度!アーカイブ配信で本日の演奏をお楽しみいただけます。</p> <p>配信期間: 公演翌々日12:00~8/31(水) 23:59</p> <p>1,500円 ※ミュージザ友の会割引あり</p> <p>配信の詳細はこちら https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/ticket/ticket_online</p>	<p>●アンコール曲 ●ほぼ日刊サマーミュージザ ●アンケート ●パートナーショップ特典</p> <p>サマーミュージザの特設サイトよりご覧ください。</p> <p>https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/</p>
--	--

ミュージザ川崎シンフォニーホール ホールスポンサー				ミュージザ川崎シンフォニーホールの公演事業は、ホールスポンサーの皆様によって支えられています。			
法人	川崎アセライ株式会社	株式会社デイ・シイ	個人	後藤 実	松本 武巳		
【特別賛助会員】	公益社団法人川崎市医師会	公益社団法人川崎市医師会	阿部 孝夫	小林 知子	山内 利夫		
川崎幸病院	川崎市信用保証協会	株式会社東芝	新井 智彦	斎藤 隆徳	山下 啓史		
川崎信用金庫	公益社団法人川崎市病院協会	東洋ロザイ株式会社	市橋信一郎	佐伯 昇	山田 昌克		
川崎フロンターレ	一般社団法人川崎市薬剤師会	びあ株式会社	井上 敏昭	佐藤 晴茂	A. A		
キヤノン株式会社	川崎鶴見臨港バス株式会社	ホテルメトロポリタン 川崎	宇佐美清一	鈴木 甚郎	D. Y		
サントリーホールディングス株式会社	川崎日航ホテル	ヤマハサウンドシステム株式会社	遠藤 智和	鈴木 徹	M. C		
ジェクト株式会社	かわさきファーズ株式会社	株式会社ヨドバシカメラ	大越麻美子	関口 浩・三代子	N. A		
三井不動産グループ	川崎臨港倉庫埠頭株式会社	*	大塚 具幸	高橋 美子	T. Y		
	株式会社きんでん		小笠原 将	竹内 啓介			
	ケイジーケイ株式会社		岡野 功	都築 豊	他匿名14名		
【賛助会員】	京浜楽器株式会社	他1法人	小野 洋彰	中村紀美子			
税理士法人あおぞら会計	株式会社さいか屋 川崎店		金山 直樹	西山 英昭			
味の素株式会社 川崎事業所	公益財団法人JFE21世紀財団		喜多 統一	長谷川喜代江			
株式会社イープラス	株式会社シグマコミュニケーションズ		木伏 源大	濱尾 泰			
NTTアドバンステクノロジ株式会社	セサ川崎農業協同組合		久住 映子	林 直人			
ENEOS株式会社	大本山川崎大師平間寺		黒川 裕子	廣瀬 治昇			
有限会社エムシーエス・デザインズ	高橋昌也税理士・FP事務所		小菅みつほ	前田 泉			
神奈川臨海鉄道株式会社							

<p>ホール内は小さな音でもよく響きます。ご協力をお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 演奏中の入退場はご遠慮ください。 全席指定の公演です。ご自分の席でお聴きください。 開演中は携帯電話、スマートフォンなど全ての電子機器は電源をお切りください。タブレット端末など光を発する機器も、周囲の方の鑑賞の妨げとなりますので、ご使用にならないようお願いいたします。 時計のアラーム・時報などは設定の解除をお願いいたします。 許可のない写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。 	<ul style="list-style-type: none"> 鈴のついたアクセサリ、お手荷物など、また、アメの包み紙を開ける際は、演奏中に音が出ないように十分ご注意ください。 演奏中の会話はお控えください。 曲が終わったとき、音が消えゆく余韻を十分に味わってから拍手をお送りください。 館内は飲食禁止となっております(ロビーでの水分補給を除く)。 <p>【補聴器等をお使いの皆さまへ】 ハウリングの発生を避けるために、補聴器等が正しく装着されていることをご確認いただけますよう、よろしくお祈りいたします。</p>
---	--

△ 新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、ご協力をお願いいたします。	
<p>【お客様へのお願い】</p> <p>ご協力ください マスクの常時正しい着用 / 手指消毒 / ロビーでのお客様同士の間隔の確保 / 必要最小限の会話 / 終演後の分散退場</p> <p>ご遠慮ください プラボー等、出演者への声かけ / 出演者への面会、花束・プレゼント</p>	<p>【休止・停止中】</p> <p>クローク / ドリンクコーナー / 冷水器 / ブランケットの貸し出し</p> <p>※万一、クラスター(集団感染)の発生が明らかになった場合、保健所等に入場者の情報を提供する場合がございます。 ※新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」や神奈川県LINEコロナお知らせシステムのご登録をお願いいたします。</p>

主催: 川崎市、ミュージザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)
 後援: 川崎市教育委員会、公益社団法人 日本オーケストラ連盟、J-WAVE 81.3FM、OTTAVA
 映像・音響制作: YouClassics
 配信協力: 株式会社 ぶらあぼホールディングス、エヌ・ティ・ティ・スマートコネクト株式会社
 助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
 独立行政法人日本芸術文化振興会



N響とソリストの力強いタッグで蘇るドイツを中心に活躍した3世代の作曲家の作品が

ドイツ音楽の粋を聞かせる

明治時代以降の日本では、多くの音楽家たちがドイツに留学した。そのひとり、山田耕筰（1886～1965）はドイツのベルリン王立芸術アカデミー作曲科に留学。作曲家マックス・ブルッフ（1838～1920）の教えを受けた。山田は帰国後の1924年、日本交響楽協会を設立し、これが現在のNHK交響楽団につながって行く。

ドイツ音楽の最初の巨匠バッハには編曲作品も多い

J.S.バッハ（レーガー編）：「おお人よ、汝の大いなる罪を嘆け」BWV622

「ドイツ三大B」と呼ばれるバッハ、ベートーヴェン、ブラームス。今回はそのうち、ふたりが取り上げられる。まず、J.S.バッハ（1685～1750）の作品から。

バッハはドイツ・バロック音楽の集大成をした作曲家であるが、その作品の中にはイタリア、フランスなどのバロック音楽の影響もあり、バロック時代全体を締めくくった人とも言える。それゆえ、ベートーヴェン、ブラームスをはじめ、多くの作曲家が影響を受けた。またバッハの作品を編曲して演奏することも盛んに行われマックス・レーガー（1873～1916）もそれに取り組んだひとり。演奏されるバッハ「おお人よ、汝の大いなる罪を嘆け」BWV622は、バッハの「コラール前奏曲」を元に弦楽合奏用にレーガーが編曲したもので、古くから伝えられるコラールのメロディーが内省的な雰囲気の中歌われる。

山田耕筰の師でもあるブルッフの名協奏曲

ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番

続いては、ロマン派時代のヴァイオリン協奏曲の傑作であるブルッフの「ヴァイオリン協奏曲第1番」。作曲した当時のブルッフはまだ20代で、1864年の初演の出来に満足せず、名ヴァイオリニスト、ヨアヒムの助言などを参考に改訂版を作り、1868年にその改訂版をヨアヒムの独奏により初演した。それが好評となり、当時の名手が次々と取り上げた。ブルッフは以後2曲、つまり計3曲のヴァイオリン協奏曲を書いたが、演奏されるのは圧倒的に第1番。第1番のなかには、ロマン派的なメロディーの豊かさ、各楽章の個性、ドラマティックな盛り上がりを感じられるだろう。

あの「のだめ」でも話題となった第7番

ベートーヴェン：交響曲第7番

最後にはルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン（1770～1827）の傑作「交響曲第7番」を。ご存知のようにベートーヴェンは全9曲の交響曲を残したが、第5番と第6番が並行して書かれたように、第7番と第8番も1811～12年というほぼ同じ時期に書かれ、1814年に一緒に初演された。交響曲第7番は4つの楽章から構成され、そのすべての楽章で「リズム」の要素を徹底的に追究した作品として知られている。特に第2、第4楽章では同じパターンリズムが使われ、それが次第に力を増して行く感じがする。第4楽章のラストは圧倒的な音量と力感で締めくくられる。

メッセージ

■ 下野 竜也

本当に良い音楽を届けるためのプログラム

意欲的かつ音楽の奥深い魅力を引き出すプログラムで知られるマエストロに今回のコンサートへの思いを語っていただきました。

● 「変わった曲」ではなく「良い作品」を

プログラムを決めるときはとてワクワクします。私には「変わったプログラムを組む人」というイメージが定着しているのかなと思いますが（笑）、自分の中ではそういう意識はありません。シンプルに楽しんでほしいというときと、背後のメッセージを感じていただきたいときがありますが、後者の場合にはあまり知られていない曲も多くなり、そういったところで「また下野は……」と思われるのかもしれませんが（笑）。もちろん自己満足にならないよう、全体のバランスにも気をつけます。マニアックだから選ぶわけではなくて、本当に良い作品だから聴いてほしいという思いなのです。

● フェスタサマーミュージックKAWASAKIでのプログラミング

ここ数年のサマーミュージックのラインナップを見ると、各楽団がやる気満々のプログラムで、良い意味で競い合っていて素晴らしいと思います。

本日の演目はベートーヴェン第7番から決めました。本当に大傑作ですし、一生勉強を続けていかなければならない作品であり、17年前に初めてN響を指揮した時の交響曲です。そこから今回はあえて直球のプログラムで行こうと考えました。深く信頼するヴァイオリニスト三浦文彰さんとは去年N響とのツアーでブラームスを演奏したので、ブラームスに刺激を与えたブルッフを。あと1曲は、Bが2人並んだのでバッハ、それもレーガーの名編曲によるコラールを選びました。

暑い時期、まず静かなバッハで涼しさを感じ、心を落ち着けて三浦さんのブルッフで妙技を楽しんで、メインに熱いベートーヴェンを味わっていただく。今回のサマーミュージックの中では比較的地味ですが、充実した良いプログラムだと思います。

● 「きれいごと」こそ伝え続けなければならない

今回のバッハ「おお人よ、汝の大いなる罪を嘆け」は何度も演奏してきました。音楽の美しさとレーガーのアレンジの素晴らしさ。そして、キリスト教徒ではなくても敬虔な気持ちになり、普遍的な祈りの時間を感じます。

広島交響楽団の指揮者（音楽総監督）になって6年目ですが、「ヒロシマ」の歴史が日常にある中、「平和だから音楽ができる」という気持ちがより強くなっています。「音楽で平和を」といいますが、それで平和になるかということ、やっぱり戦争はなくなる。たしかに「きれいごと」です。でも、その「きれいごと」を言うのを諦めたらもう終わりだと思うのです。音楽で戦争を止めることはできないにしても、戦争の愚かさを、平和の尊さを、心に刻むことは絶対できると思っています。演目の決定は2月よりも前ですが、凶らずもこのタイミングになりました。とはいえ、メッセージを押し付けるつもりはもちろんありません。全体で楽しんでいただければ本当に嬉しいです。

（取材・文＝林昌英）



©Naoya Yamaguchi